



医療生協だより

まつしま

第154号 1月1日発行

松島医療生活協同組合 組合員 6,186名 (2012年11月30日現在)

〒981-0213 松島町松島字普賢堂2-11 ■発行/生協だより編集委員会 ■印刷/松島(有)福田印刷
TEL. 022-353-2696 ■ホームページ http://www.mmcoop.or.jp/

『8つの生活習慣を』

- 1) 適正な睡眠時間(7~8時間)をとる。
- 2) 過労を避け、十分な休養をとる。
- 3) 喫煙をしない。
- 4) 過度の飲酒をしない。
- 5) 適度な運動を定期的につづける。
- 6) 低塩分、低脂肪のバランスのよい食事をとる。
- 7) 間食せず、朝食をとる規則正しい食生活をする。
- 8) 一日1回以上よこれを落としきる歯みがきをする。



協同の力でより良い社会を

松島医療生活協理 名雪 英三

国際生協年とうつこと

二〇一二年は、国際生協年でした。世界的に協同組合が注目され、その発展が期待された年でした。では、なぜ協同組合が期待されるのか。松島医療生協は、住民



謹賀新年

の命とくらしを守るために住民自身の出資金によって一九七一年(昭和四十六)年に作られました。

それは、組合員の代表が総代会で各自一票の決定権を持って会議に参加し、全てのことを決める民主的な団体です。

日本には、協同組合が約三万六千あります。購買生協(二千五百万人)農協(九百万人)、その他、漁協や森林組合、さらに信用金庫・信用組合などの金融部門まで数百の部門にわたって協同組合が存在します。いくつかの組合にだぶって加盟している分を含め全部合わせると八千万人の市民が協同組合の組合員になっています。これは大きな力になります。

医療生協は三百万人加盟を目指しています。(松島医療生協の組合員数は二〇一二年十一月末で六一八六名です。)



協同組合がよりよい社会をつくる

東京電力の株主総会で福島原発再稼働問題について議決した時、株主総会に参加した九十九%の株主が再稼働に反対しました。しかし、株主総会は、再稼働を決定しました。

東京電力の勝保会長は「私たちは、大株主から委任状をいただいている。それは、出席なさった株主の皆さんがお持ちの議決権を大きく上回る。さらに、私たちは事前委任状を二つの株主から預かった。いずれも原発継続、推進の強い意志だ」「会場のあなた方が、いくら声をあげても通りません」と言った。東電では個人株主は、株主数では、九十九%、七十四万人を数える。それを全部合わせても株数は四十四%に過ぎない。株主数で一%の大株主が、五十六%の株を保有する。主として、金融機関・信託銀行・生命保険などの法人である。

現実の法律はマネー側が握っている。

これに対抗するには協同組合に結集した自覚的な市民の出資金を募って社会資本を充実していく道が今現実なものとして注目を浴びている。

松島医療生協の未来

松島町内では、すでに過半数以上の家庭で医療福祉生協に加盟しています。今は、個人加盟ということで家族会員制から個人組合加盟制になっています。みんなで出資金を出し合ってより良い医療生協を作る努力をしているところです。自覚的な市民運動として生協運動発展の担い手として班活動やボランティア活動に力添えいただければ医療生協は、更に発展し、新しい社会づくりの礎となります。あなたのお力をお貸しください。「介護施設まつしまの郷」が完成し、歯科を二階に移転し充実させ、組合員活動の拠点として水主町に作った集会所・事務所・サロンを充実させることは、私たちに新しい希望を与えてくれるものと確信しています。「協同組合がよりよい社会を作ります」

松島医療生協の役員紹介

謹賀新年

本年もよろしく
お願いいたします

- | | |
|------|-------------|
| 理事長 | 名雪 英三 (高城) |
| 副理事長 | 青木 幹子 (磯崎) |
| | 山崎 武彦 (職員) |
| 専務理事 | 青井 克夫 (職員) |
| 常任理事 | 榎林 毅 (石巻) |
| | 桜井 昭 (二小) |
| | 檀崎 祐夫 (職員) |
| | 山本 幸子 (鳴瀬) |
| 理事 | 赤間 洋子 (北部) |
| | 安部 悦子 (鳴瀬) |
| | 大類 幸雄 (大郷) |
| | 佐田 紀元 (高城) |
| | 佐藤 清子 (石巻) |
| | 佐藤 良治 (職員) |
| | 品川 聖治 (磯崎) |
| | 高橋 静子 (職員) |
| | 高橋 康則 (職員) |
| | 中川 敬子 (海岸) |
| | 永沼 幸枝 (磯崎) |
| | 手代木せつ子 (鳴瀬) |
| | 長峰 千代 (海岸) |
| | 本館 榮子 (鹿島台) |
| | 山崎 定子 (大郷) |
| 監事 | 蒲生 功 (高城) |
| | 佐藤 英夫 (二小) |
| | 大友 忠 (北部) |





海岸支部

手芸教室に参加して

大宮司 美代子

海岸支部役員の方から「手芸教室」のご案内のチラシをいただき、すぐ今年に参加してみようと思えました。来年の干支の「宝来巳（ほうらいへび）」を作成すると書いてあったからです。私は巳年生まれなので不器用ながら挑戦してみようと・・・九時三十分頃の内集会所に着くと、顔見知りの方が揃って居り安堵しました。初めて作る「木目込み」は難しく出来るかなあと心配でしたが、ベテランの方が先生となり丁寧に一つ一つ教えてくれ、又、早く終わった方にもお手伝いしていただき、終了予定時間の十二時によろや



く出来上がりしました。

出来ばえはいまいちですが、小判がこぼれ出る巾着を抱えた巳が、可愛い目で私を見つめています。チャーミングです。

来年まで数日となりました。「二陽来復」来年も良い年になりますよう祈りつつ飾りたいと思います。

皆様お手伝いありがとうございました。

高城支部

「出資金増やこじこじ」

ついで

佐田 紀元

高城支部が、今まで頑張ってきたのは出資金を増やす運動でした。

前支部長の横田きえ子さんと現支部長の磯崎和恵子さんのお二人が特に頑張つて、毎月集金袋によつて数多くの出資金を集めて下さいました。



二〇一一年の三月～二〇一二年の十一月迄で総額二百二十五万円も集めてもらいました。出資して下さる組合員さんにはとても感謝致しております。集金をやり通したお

二人には特に頭が下がります。

これからは、高城支部の運営委員のみなさんがこれに続けと出資金増やしに熱心になつて下さればと強く思います。出資金の集計や領収証書きや本部への納入をやつてきた事務局の佐田としても新しく集金して下さいる人が増えてきたらと強く願っています。

皆様今年もよろしくお願ひ致します。

磯崎支部

支部の主な班会

支部長 品川 聖治

①支部組合員のレクリエーション（移動班会）として十月三十一日（水）に二十八名の参加で前年と同じく鳴子・川渡温泉の玉造荘へ行つてきました。

集合場所が松島中央公民館でしたので、改修工事中のため送迎バスの駐車場所を心配しましたが、幸い工事のガードマンの親切で現場内に駐車させてもらい助かりました。

九時出発、バスは定員二十八人なので補助席を全部つかつての満杯状態でした。

鹿島台・松山・古川を経由して十時半過ぎに玉造荘に到着。

到着後三十分程松島医療生協の現況（強化月間

介護施設建設等）についての話をして昼食。

昼食後、スライドを使用した組合員活動の紹介を行いました。その後ハーモニカ伴奏で童謡・唱歌を歌つたり、高山の花の紹介をしたり、入浴する人、おしゃべりをする人、それぞれ楽しみました。温泉はグリーン色でよく暖まるお湯で好評でした。

②花園集会所では定期的（毎月）手芸と軽い体操と参加者自身が腕を奮つて昼食を作り、食べながら楽しく懇談班会を行っています。



三小支部

好評だった追分温泉

支部長 佐藤 広

十一月十三日火曜日二小支部は秋の移動班会で石巻市河北町の追分温泉へ行ってきました。

当日は好天に恵まれ、車中では車窓に流れる紅葉を目にしながら隣り合わせのお友達とさっそくおしゃべり開始・・・

約一時間ちよつとで目的地の追分温泉到着。宴会交流の前には医療生協らしく、佐々木初代ケアマネージャーを講師に「介護保険」について学習の時間。

「こんな時こんな利用が出来ます」、「介護保険の利用の仕方」、「要支援・要介護」に認定された場合の手続きなど詳しく説明を受けました。

もし、自分が、家族が介護を受ける立場になったらどうしたらいいのだろうかと思ひ悩んでいたのが、話を聞いて「なるほど」と納得できた学習でした。

宴会交流では近年の移動班会にはないほどの料理が所せましと並び（二の膳付き）食べきれないほど、その上、お風呂のかげんも良く何から何まで満足の移動班会でした。



二小支部では、年2回（春と秋）行っている移動班会に支部財政から補助を出しておりますが、十一

月二十八日には財政活動として運営委員さんの協力のもと二小恒例のナツピーデーを開催、しっかりと財政確保も出来ました。

こうした活動が出来るのも組合員さん・運営委員さんの協力があつての事と思つています。

これからも支部組合員の交流を図りながら医療生協活動に取り組んでいきたいと思つています。

北部支部

支部活動について

支部事務局

北部支部は年間の行事を予定通り実施し、組合員活動に一定の効果を上げたと思つています。



特に昨年は支部長が「蒲地区の竹川明さん」に変わりましたが「北小泉の下竹谷地区」からの支部長は初めてです。今年はこの地区での活動の強化が期待されます。

北部支部は、一月二十七日に恒例の新年会を開催して今年の活動のスタートになると思います。支部での悩みの種は、

役員や配布協力者の高齢化が進んでいるので、どう世代交代を乗り切るかだと思います。簡単なうまい話はないと思ひますが、何か今までの活動から新しい活動を作つて行く必要があると思つています。

本部とも相談し、力を借りながら創意をこらして取り組んで行きたいと思ひます。

今年もよろしくお願ひします。

手樽支部

新年の抱負

支部担当職員 佐藤 良治

手樽支部では、昨年全戸訪問にて収集した情報をもとに組合員名簿の整理、班再編成を行いました。

その結果、震災の影響もあり組合員数は減少となり、高齢化が進んでおります。

手樽支部では地域の健康を守る対策として班会や支部活動に参加できる支部協力者と組合員ひとりひとりをつなぐ機関紙手配りに協力してくれる方を募集しております。

健康に興味がある方、機関紙手配り可能な方がおりましたらお気軽に組合員活動部（TEL〇二一三五三―三三〇九）までご連絡いただければと思います。

鳴瀬支部 楽しかった移動班会

手代木 せつ子

十一月三十日(金)大崎市田尻の「さくらの湯」ロマン館へ総勢四十二名で行ってきました。



東松島は勿論、震災後塩釜、利府、松島へ移住された方々も参加してください、震災以前の「ふるさと」の話で盛り上がりました。

今回の移動班会は全国の医療生協さんの支援のもと実現したのですが、多忙の中、名雪理事長と青木副理事長にもご参加いただきました。

八十の瞳が集中する中で手品を披露してください、理事長の言葉の中で、何事においても本当か嘘かを見抜く力をつけなければという点が記憶に残っています。

短時間の為、温泉場にながら入湯できなかつ

鳴瀬支部 健康体操愛好会

「ひまわり」です。

阿部 ふき子

「ひまわり」は東松島のひびき工業団地内仮設住宅の住民十名ほど(六十代前半〜七十代)のオバサン達が月二回(第一・第三金曜日)集まっているサークルです。



講師は宮城県レクリエーション協会事務局長の山内直子先生です。スクエアマットというゲーム感覚の道具を使い体を動かしながら脳活性の体操

を、また、「悲しき雨音」や「潮来笠」などの曲に合わせてリズム体操をしています。

直子先生の意表をつく行動に腹がよじれる程大笑いしながらみんな和気あいあいと楽しく活動しています。

新会員さんも募集しています。

◆連絡先

〇九〇一五五九二五二三〇
中塩敬子まで

大郷支部

二〇一三年の活動計画

支部事務局

●一月〜二月上旬に広く組合員に呼びかけて「新年会開催」を計画しています。

●診療所を利用する組合員が減っているので、「組合員で良かった」と思われる「班会や集い」をいろいろな方法で行えるよう工夫し、支部活動の活性化を図ります。



まつしま 暮らしの助け合いの会

「会員交流会開かる」

会幹事 蒲生 功

十一月八日恒例の芋煮会会員交流会が松島町野外活動センターにおいて五十二名の参加で行われました。

青木代表の交流会の趣旨や医療生協の状況、課題等の話。名雪理事長からは金で動く会社に対して協力の力で動く素晴らしさを。大友顧問からは消費税、原発、国会解散等の話もありました。

参加者紹介の後、会場一杯になったのラジオ体操で身体をほぐして、美味しい美味しい芋煮を戴きました。



素晴らしい顔で会話し合っていたのが印象的でした。その後の歌では腹の底から声を出して一段と輝いていました。

普段家から出ることが少ないので大変楽しかった。会えること、一緒に何かをすることが楽しい。等の声に込めるべく会を広げ、絆を確かめ合う自覚を確認しました。

おたつしやデイ ボランティア

レインボー 柴田 桂子



新年を迎えました。医療生協ではようやくデイサービス、訪問看護、組合員の部屋等新しい施設の建設が実現し、これまでも増して活発な活動が展開される年になる事でしょう。

東日本大震災は、一九四五年敗戦以来の大きな試練でした。日頃感謝している自然の恩恵に反した力の脅威を思い知らされました。原発事故は、自然への人智の不遜の極みと痛感しました。

今年はどうな出来事が待ち受けているでしょうか。年頭にあたり思いを強くすることは、日本を絶対戦争をする国にしてはいけないということ。憲法九条を守ることは世界

の平和に繋がることだと思います。

個人はもとより国を挙げてエネルギーの問題を追究して行かなければなりません。それについても教育や情報等々国民一人ひとりがよく知り、正しい判断が出来るような社会の仕組みを求めてやみません。

社会保障委員会

理事長 名雪 英三

女川の原子力発電所再稼働反対は、切実な問題です。

女川から松島は、わずか三十キロメートルちよつとしか離れていません。事故が起これば、放射線による汚染地域になります。逃げようがありません。

また、平和を守るために日本国憲法第九条を守ることは、日本の外交問題の基本です。日本を戦争する国にしてはいけません。松島「九条の会」は、松島医療生協社保委員会が事務局をしています。十二月八日には「戦争を語り継ぐ会」を開き、塩釜の「菊地誠太郎さん」の話をお聞きしました。

九の日署名に取り組み、松島町で三〇四七筆の署名を集めました。また、社保委員会には二台の放射線の線量計が

あります。自分の家の周辺の放射線量を調べたい方には、線量計(写真)を貸し出しています。ぜひ調べてみてください。



その他、医療・福祉にしても署名を集めることが国や県を動かす力になります。ぜひご協力ください。

保健活動委員会

昨年の活動報告

山崎 定子

総代会後の活動として一、みやぎ生協松島店での「健康チェック」を昨年にも実施し、血圧測定で健康を知る大切さを感じさせてくれました。

二、東日本大震災で避難場所に避難された方々が、「仲間の絆」を忘れない為に毎月十四日の集まり・お茶飲み・情報交換をしている、鳴瀬支部牛網の「チームあいあい」より「健康チェック」の依頼を受け、二ヶ月に一回の割合で行くようになりました。(次ページへ続く)

2013年(第21回)『組合員交流集会』開催のお知らせ

◆日時:2013年2月17日(日)10時~14時
 ◆会場:ホテルパレス松洲
 ◆参加費:資料・弁当代 2,000円

◆内容◆

- 記念講演
 講師:医療福祉生協連 専務理事 藤谷恵三氏
- 支部・事業所からの報告
- 昼食交流会



(前ページからの続き)
 利用者の方にも喜ばれ、楽しみにしていただいています。

三、ころぼん体操はこれまで三回行いました。体操の前に体力測定を行いました、自分の体力を知り、又、以前の測定値との比較が出来好評です。石巻・東松島での健康チェックの要望にも応えられるように保活委員を増やしてほしいと思います。



内容は、①松島のことを学ぼう(瑞巖寺や歴史や松島町全体のこと等)

被災地から松島へ転居してきた方々の集い

「まつしま」開催

第二回「まつしま」が十一月十六日(金)に松島町勤労青少年ホームで開催されました。参加者は東松島から転居された方が十名と松島のボランティアさん四名の集まりでした。

をスライドで勉強、②組合員活動の報告(東松島のサークル・仮設住宅での取り組みと松島の支部や委員会)と生協強化月間の訴え、③座ってできる手足の体操をして八つの健康習慣×クイズで頭の体操もしました。



新事務所の「愛称」募集

この度、松島海岸診療所駐車場に隣接する水主町に事務所を取得し、改装を終えました。新事務所は、会議室と組合員さんの交流ルームを備えています。親しまれる事務所の愛称を募集いたします。応募方法は以下の通りです。

応募期間/2013年1月10日~3月10日
 応募方法/松島海岸診療所に備え付ける応募用紙に住所・電話番号・氏名を記載しボックスに入れて下さい。
 選考方法/4月理事会で選考し、4月10日に発表(診療所内に掲示)します。なお、同じ愛称が複数の場合は抽選となります。

採用された当選者1名と佳作2名に、クオカード(3000円、1000円)を差し上げます。

離任挨拶

歯科事務長 高橋 康則



十三年間歯科で勤務しておりましたが、十一月半ばより宮城民医連へ出向することになりました。出向先では医学生を集め将来松島を含めた民医連を担う医師を養成出来るように頑張つてきます。在任中は大変お世話になりました。これからも歯科及び松島医療生協をよろしく願います。

松島海岸診療所 診療案内

●内科 ☎(022)354-3702

	午前		午後	
	7:30	8:30	12:30	15:00
月		山崎		山崎
火	山崎・吉田(内視鏡)			休診
水		山崎		山崎
木		山崎		休診
金		山崎		山崎
土	山崎・応援医師で交替			

※受付は診療時間終了30分前までをお願いします。
 ※木曜日の7:30~8:00の診察は予約制です。

●歯科(予約制) ☎(022)353-2717

※11月から下記の体制となります。

	午前		午後・夜間	
	8:45	12:00	14:00	17:00
月	遠藤・久中(隔週)		遠藤・久中(隔週)	
火	佐藤	11:45	久中・佐藤	久中
水	久中/岩松		岩松	
木	久中		久中	
金	久中		久中	
土	遠藤又は久中		遠藤又は久中	

※急患受付は診療時間終了60分前までをお願いします。
 各担当歯科医師の診療日は不規則ですので受付までお問合せ下さい。
 火・金はDrの休憩時間が適時入ります。

●訪問看護ステーション「まつしま」

月~金	8:30~17:30
土	8:30~12:30

●デイケア(おたっしゃデイ)

月~土	9:15~16:15
-----	------------

●介護相談センター

月~土	8:30~17:30
-----	------------

まつしまの郷 来春着工予定!

東日本大震災で流失した「なるせの郷」の復興と、介護事業所の強化を目指した「まつしまの郷(イメージ図)」の建設・着工が来春から始まります。

まつしまの郷は、松島海岸診療所前の駐車場に建築します。1階がデイサービス、2階に介護相談センター、訪問看護、多目的ホールの施設です。

詳細は、支部会、班会等で説明します。



各事業所等の連絡先

■松島海岸診療所(内科)
 ☎022-354-3702

■松島海岸診療所(歯科)
 ☎022-353-2717

■介護相談センター
 ☎022-353-3185

■訪問看護ステーション「まつしま」
 ☎022-353-3295

■デイケア(おたっしゃデイ)
 ☎022-354-3702

■まつしまくらしの助け合いの会
 ☎022-353-3309

■松島医療生協(事務局)
 ☎022-353-2696

■組合員活動部(組織部)
 ☎022-353-3309